

# 教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

## 1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

## 2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように  
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

## 3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

## 4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 教会教育部

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。  
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

# 教師ノート

週課	第一年 第五課 第一週
単元	ペンテコステ
テーマ	内住され共にいてくださる聖霊
タイトル	いつも一緒
テキスト	ヨハネ 14:16-17、14:26、15:26、16:7-8、16:13-15、Iコリント 6:19、12:3
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) Iコリント 6:19
AG 日曜学校教案参照箇所	小学下級1巻－主題3－8課「聖霊を受けたペテロ」 中学2巻－主題4－5課「聞くべき声」
□導入	あなたは一人ぼっちだなと感じたことはありますか？どんな気持ちでしたか？イエス様はわたしたちが一人ぼっちにならないで、神様に従っていくことを助けることができるように聖霊を遣わすと約束して下さいました。聖霊とは一体どういうお方なのでしょう？
□ポイント1 イエスさまは助け主である聖霊を遣わすと約束して下さいました	イエス様は十字架にかかれる前、最後の晩餐の席で弟子たちに自分が去っていかれること、そして代わりに天の父なる神様をお願いしてもう一人の助け主として聖霊が遣わされることをお話しになりました。イエス様がよみがえって天に戻られたあと、ペンテコステの日に弟子たちの上に聖霊が降りました。そして、聖霊がイエス様の働きを引き継がれ、弟子たちと共に、弟子たちを通して全世界的規模の福音宣教時代が始まったのです。聖霊は「神の霊」とも「イエスの御霊」とも言われているように、神様の霊であり、神様ご自身です。聖霊が働かれると私たちの内にある罪を教えてくださいます。そしてイエス様を信じるようにと導いてくださいます。私たちは聖霊によらなければ自分の内にある罪がわからず、イエス様を神の子救い主であると認めることはできないのです。
☞聖霊は三位一体の神様の第三人格の神様です。詳しくは2008年9月28日「神について－三位一体の神様」を参照してください。	
□ポイント2 聖霊はイエス様を信じる人の内に住んでくださいます	イエス様を自分の罪からの救い主として信じる人の心には聖霊が住んでくださいます。聖霊はイエス様を信じるすべての人の内に住んでくださっているのです。イエス様を信じてからお祈りや賛美が心から捧げられるようになったと感じる人もいます。聖書を読むのが楽しくなったという人もいます。また、今まで何とも思わなかった罪の行いに対して罪悪感を覚えるようになったということもあるかもしれません。それは聖霊があなたの内に住んでくださり働いておられるからです。また、感覚的に何も感じない時もあるかもしれません。それは聖霊がどこかに行ってしまったのではありません。聖霊は確かに信じる者の内に住んでおられるのです。あなたが独りぼっちになることはもうないのです。しかし、時に私たちはイエス様を信じた後も神様中心の生活ではなく自分中心の生活をしてしまうことがあります。そのような時は聖霊の語りかけが聞こえにくくなることもあります。今のあなたはどうですか？(※教師の実際の経験などを話すといいでしょう)聖霊はあなたの内に住まわれ、あなたの人生を神様のすばらしい祝福に満ちたものへと導きたいと願っておられます。罪の奴隷であった私たちを、神様はイエス様の尊い十字架の血潮という代価を払って買い取ってくださり私たちの内にご自身の霊である聖霊を住まわせて

くださいました。ですから、もはや私たちのからだは神様のものであって自分自身のものではありません。もう罪の奴隷ではないのです。聖霊の声をいつも聞きながらその導きに従っていく者なのです。

**□ポイント3 聖霊はイエス様を信じる人といつも共にいて助け導いてくださいます**

聖霊はいつでも、どこにいてもイエス様を信じる人々と共にいてくださいます。どこか特別な場所に行かなければ神様に会えないのではありません。あなたがどこにいても、どんな状態でも神様を呼び求めるなら聖霊はあなたにこたえてくださるのです。そして、みことばや祈りの中で私たちに慰め、励まし、正しい方向へと導き、時には間違いを教えてくださいます。(※教師の実際の経験を話すとよいでしょう)そうして私たちは聖霊の働きの中で少しずつイエス様に似た者へと造り変えられていくのです。聖霊に導かれて私たちの考え方や言葉、行動、態度がイエス様のように変えられていく時、また聖霊に力を与えられて情熱をもって福音を伝えていく時、それは私たちを通してまるでイエス様が現代に生きておられるかのようにしてイエス様を証していくことができるのです。こうして、聖霊は私たちを通してイエス様をこの世に証しされるのです。

**□結論 イエス様を信じる人々の内には聖霊が共に住んでいてくださいます**

**□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)**

イエス様はよみがえられて天におられる父なる神様の元に戻られましたが、代わりに助け主として聖霊が遣わされました。現代は目には見えない聖霊が信じるすべての人々と共にいてイエス様がこの地上でなされたと同じように働いておられるのです。あなたは自分が一人ぼっちだと思ったことはありませんか？イエス様を信じるなら、あなたの内にはすでに聖霊が住んでいてくださっています。そして聖霊はあなたを助け導き、あなたを通してイエス様を証しするために遣わされているお方なのです。内住しておられる聖霊を感謝し、聖霊を信頼しませんか？聖霊の声に耳を傾けていきましょう。そして聖霊の導きに従う者になりましょう。

# 教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第五課 第二週
単元	ペンテコステ
テーマ	異言のしるしを伴う聖霊のバプテスマ
タイトル	ペンテコステの日の出来事
テキスト	使徒 1:4-5、1:8、1:12-14、2:1-47
参照箇所	使徒 4:31、8:14-24、10:44-48、19:6
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ 11:13 or ヨエル 2:28

AG 日曜学校教案参照箇所  
小学下級2巻-主題4-13課、小学上級3巻-主題1-2課、中学1巻-主題2-4課、中学3巻-主題2-6課

## □導入

あなたの誕生日はいつですか？教会の誕生日は、ペンテコステの日です。ペンテコステとはユダヤの収穫をお祝いするお祭りの一つですが、神様はこの日に聖霊を弟子たちにお与えになりました。聖霊に満たされたペテロたちはイエス様を力強く証し、3000人が救われて最初の教会が誕生したのです(魂の収穫の始まりですね！)。ペンテコステの日に何が起こったのか見てみましょう。

## □ポイント1 イエス様は弟子たちに聖霊のバプテスマを約束されました

イエス様は天に戻られる前に弟子たちを集めて約束してくださいました。「あなたがたはエルサレムを離れないで天におられる神様の約束を待ちなさい。あなたがたはもう間もなく聖霊によってバプテスマを受けます。」バプテスマとは「浸される」という意味です。ですから聖霊のバプテスマを受けるとは聖霊によって浸される、つまり聖霊によっていっぱいになる、満たされるということなのです。さらにイエス様は言われました「聖霊に満たされるとき、あなたがたは大きな神様の力を受けます。それによって、エルサレムからユダヤ、サマリヤの全地方、そして地の果てまで私のことを証しする証人になります。」聖霊に満たされると、その人は世界中にイエス様のことを証していく力、イエス様のことを伝えたいという熱い思い、熱心が与えられるのです。実は、弟子たちはイエス様がいなくなることをとても悲しみ、不安でいっぱいでした。イエス様が十字架にかかれた時もみんな逃げてしまいました。イエス様がお墓に葬られたあとはみんなで家に閉じこもってかぎを掛けて小さくなっていました。「これからどうしたらいいんだろう。どうやってイエス様のことを伝えていけばいいんだろう」そんな弟子たちにイエス様は素晴らしい聖霊の希望の約束を与えてくださったのです。

## □ポイント2 弟子たちは約束を信じて心を合わせて熱心に祈り求めました

イエス様が天に昇られると、弟子たちはさっそくイエス様に命じられたとおりにエルサレムに帰りました。弟子たちにとってはイエス様を迫害して十字架に付けた人々が沢山いるエルサレムに戻るということは勇気が必要だったことでしょう。でも弟子たちはイエス様が命じられたことに従ってエルサレムにとどまったのです。そして泊まっていた家の屋上に上がってみんなで心を合わせてお祈りを始めました。そこにはイエス様の弟子たちをはじめ、イエス様に従ってきた女の人たちやイエス様のお母さんのマリヤ、またイエス様の兄弟たちもいました。みんなイエス様を信じて従ってきた人たちです。集まった人たちはただひたすらイエス様の約束を信じて心を合わせて祈り続けました。聖霊の約束を求め続けたのです。だれも、聖霊がどのようなものかわかりません。聖霊に満たされるということがどのようなことなのかもわかりません。また、それがいつどのような形で与えられるのかもわかりませんでした。でも彼らはただ約束を握って、信じて、心を合わせて祈り求め続けたのです。

### □ポイント3 ペンテコステの日に約束通り弟子たちは聖霊に満たされ変えられました

そして10日が過ぎました。五旬節(ごじゅんせつ・ペンテコステ)というユダヤ人の祭りの日になりました。穀物の収穫祭の日です。弟子たちは皆同じ所に集まっていた。すると、突然天から激しい風が吹いてくるような響きが起こりました。そしてそれは彼らがいる家全体に響き渡りました。そして、天から炎のような分かれた舌のようなものが現われて、そこにいたすべての人の上にとどまったのです。するとどうでしょう、そこにいた人がみんな聖霊に満たされて聖霊の導かれるままに自分の知らない外国の言葉(異言)で突然話し出したのです。

驚いたのは物音を聞いて集まって来た人たちです。そこには多くの外国から集まって来た人々がいました。「これはいったいどうしたことか!？」自分の国の言葉で神様のことを話している彼らの姿にびっくりしてしまいました。ある人はお酒に酔っているのではないかといってあざける人もいました。

そこで、ペテロがほかの11人の弟子たちと一緒に立ちあがって言いました。「みなさん、聞いてください。今は朝の9時ですから私たちはお酒に酔っているではありません。これは預言者ヨエルがかつて預言したことが実際に起こったのです。終わりの日に神様はイエス様を信じるすべての人にご自身の霊である聖霊を与えてくださるのです。あなた方が十字架にかけたイエス様こそ私たちを罪から救う救い主です!」ペテロは集まって来た人々にイエス様を大胆に証しました。イエス様が十字架にかかる時に怖くなって三回もイエス様を否定したペテロとはまるで人が変わってしまったようです。聖霊に満たされた時にペテロは力が与えられイエス様を大胆に証する証人に造りかえられたのです。そしてその日、ペテロのメッセージを聞いてイエス様を信じた人が3000人もいました。こうして最初の教会が誕生したので、教会は聖霊によって生み出されました。そして最初の教会はペンテコステの教会だったので。

- ⑤「五旬節」…別名ペンテコステ。ユダヤの祭りのひとつ。過ぎ越しの祭りから50日目であることから五旬節と呼ばれた。もともと大麦の収穫を祝う収穫祭であった。この日に聖霊が下ることによって世界規模による魂の収穫が始まったことを象徴的に示している。
- ⑤「他国のことば」…異言の一つ。話しているものはわからないが、聞いているものの中には理解できる者がいる言葉。異言には聞くものが理解し解き明かせるものとそうでないものがある。また、異言には聖霊に満たされたしるしとしての異言と、聖霊の賜物による用法の異なる二つの異言があるが、ここでは前者である。

### □結論 聖霊は人の考えや限界を超える力を持っておられるお方です

#### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は求める者を聖霊で満たしてくださると約束して下さっています。聖霊に満たされる時、私たちの内から湧き上がる神様に従いたい、神様を証したいという情熱、熱心さが与えられるのです。弟子たちは神様から与えられるそのエネルギーによって大胆にキリストに従い、キリストを証する人へと変えられたのです。祈りと賛美とみことばの約束を握って神様に近づきましょう。心を神様の前に開きましょう。あなたの心を聖霊に委ねましょう。大切なことは神様に向かってあなたの心が解放され自由にされていくことです。罪が示されるなら悔い改めましょう。また誰かにお祈りしてもらうことも良いことです。しかし、何よりもあなた自身の唇を開いて神様に求めましょう。唇を神様に委ねる時、神様があなたの舌をコントロールして下さり、神様が与えて下さる言葉(異言)で自由に祈らせてくださるでしょう。

聖霊のバプテスマを求めて心を合わせて祈る時間を持ちましょう。(霊が解放される雰囲気を作るように導きましょう。神様をほめたたえ求める賛美を何曲かしてもよいでしょう。できるだけ声に出して自由に祈るように導きましょう。)

# 教師ノート

週課	第一年 第五課 第三週
単元	ペンテコステ
テーマ	教会の誕生
タイトル	教会の誕生
テキスト	使徒2:14-47
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒2:41
AG 日曜学校教案参照箇所	中1巻2題6課 幼1巻3題8課
□導入	<p>みなさんに質問があります。みなさんの誕生日はいつですか？ 次の質問です。では、イエス様の誕生日はいつでしょうか？ それでは、もう一つ質問です。教会の誕生日は、いつだか知っていますか？ 今日のお話しは、教会の誕生日についてのお話しです。</p>
□ポイント1 ペテロさんは神様について大胆に話しました	<p>先週のお話は、イエス様が天にお帰りになってから、約束通りに聖霊が与えられた。というお話しでした。</p> <p>イエス様が十字架にかけられた時、弟子たちはどうしていたのか、みなさん覚えていますか？弟子たちは自分も捕まるかもしれない。と思ってビクビクしていました。</p> <p>しかし、聖霊が与えられると弟子たちはかえられます。いままではビクビクしていたのに、それが大胆に神様のことを話せるようになったのでした。</p> <p>ペテロさんは、ほかの十一人の弟子と共に立ち上がり、声を張り上げ、集まってきた人たちに神様の話を始めたのでした。ペテロさんはこんなことを話したでしょう。</p> <p>「みなさん、どうかこれから話すことをしっかりと聞いてください。ナザレ人イエスこそが、神様から遣わされたお方です。神様は、イエス様を通してたくさんの不思議なわざと見るしを見せてくださいました。耳が聞こえない人が聞こえるようになりました。また、目が見えない人は見えるようになりました。ほかにも、5つのパンと2匹の魚を祝福してそれを増やし、たくさんの人が食べられるようにしてくださいました。みなさんもすでに知っているとおりで。このイエス様を、あなたがたは十字架につけて殺してしまったのです。しかし神様は、イエス様を死の苦しみから救い、よみがえらせてくださいました。聖書に預言されていたことが、そのとおりになったのです。神様がイエス様を復活させられたのです。私たちはその証人です。」</p> <p>ペテロさんは、今までは考えられなかったような、大胆にそして力強く話しを続けました。</p> <p>「イエス様は天に帰られる前に、約束をして下さいました。ご自分が天にかえった後に、『聖霊を与えます』というものでした。その約束のとおり聖霊が与えられたのです。今日、みなさんは不思議なことを見たり聞いたりしてビックリしていますが、これはイエス様が約束なさったことのあるしなのです。</p> <p>だから、みなさんぜひ覚えて下さい。神様が救い主として遣わされたイエス様を、あなたがたは十字架につけて殺したのです」。</p>
□ポイント2 ペテロさんの話しを聞いて多くの人がイエス様を受け入れました	<p>ペテロさんの話しを聞いていた人たちは、強く心を打たれました。</p> <p>そしてペテロさんや他の弟子たちに言いました。「ペテロさん、わたしたちは、どうしたらよいのですか？」</p> <p>ペテロさんは彼らに言いました。「悔い改めなさい。そして、それぞれがイエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、あなたがたも聖霊を受けるでしょう。」</p>

この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供たちにも、また遠くに住んでいるすべての人にも与えられています。」

ペテロさんは、ほかにもいろいろ話しをして、力強く証をして「この、曲がった悪い時代から救われなさい」とすすめました。ペテロさんの話しを聞いて、その言葉を受け入れイエス様を信じた人たちは、すぐに洗礼を受けました。その日だけで、三千人もの人たちが仲間に加わったのでした。

### □ポイント3 信じた人たちは日々集まって神様を賛美しました。

そして、使徒たちから聞いた教えを守り、お互いに交わりをして励まし合い、パンをさき、お祈りをしていました。みんなの心に、神様をおそれる思いが与えられました。そして十二人の使徒たちによって、多くの不思議なわざ、奇跡とされるしが行われました。

みんなは心をひとつにして、すべての持ち物も一緒に使うことにしました。また財産や持ち物を売り払って、必要に応じてみんなの人に分け与えたのでした。

彼らは毎日集まって、心をひとつにして、喜びと真心とを持って一緒に食事をしたり、神様を賛美したりしました。その様子は、本当に楽しそうで、見るすべての人に好感を持たれていました。

そんな彼らの様子を見て「私もイエス様を信じます」と言って救われる仲間が、毎日加えられていきました。

### □結論 聖霊によってエルサレムに教会が誕生しました

ペテロさんは大胆にイエス様のことを語りました。しかし、イエス様が十字架にかかる前、ペテロさんは、『イエス様のことなん知りません』と三回も言ったことがありました。イエス様と一緒にいる時、イエス様には『どんなことがあってもイエス様についていきます』とっていたにもかかわらずです。ほかの弟子たちも同じでした。しかし、聖霊がおいでになってから、ペテロさんも弟子たちも変わりました。聖霊の助けによって全く変えられたのでした。

その聖霊によってペテロの語った言葉が聞く人たちの心をとらえました。そして悔い改めへと導いたのでした。多くの仲間が加えられていくのも聖霊の働きです。信じる心は聖霊によって与えられ、その信じた人たちの集まりである教会は、聖霊によって誕生したのでした。さらに教会は聖霊によって成長し、そして拡大していくのです。

### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. みなさんは、お友達や家族にイエス様のことを伝えることを恐れてはいないでしょうか？ペテロさんたちのように大胆に語りたい。と思いませんか？いま聖霊によってイエス様のことを大胆に語るができるようにお祈りしましょう。
2. わたしたちは、毎日の生活の中で、どのくらいの時間イエス様のことを思っているでしょうか？いつもイエス様のことを思っていたいと思いませんか？聖霊によっていつもイエス様のことを思っていられるようお願いお祈りしましょう。
3. あなたはイエス様が自分のために十字架につけられたことを信じますか？いまイエス様に『ごめんなさい。ありがとうございます。』とお祈りをしましょう。

# 教師ノート

週課	第一年 第五課 第四週
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊を受けなさい
タイトル	聖い霊
テキスト	使徒 4:32-5:11
参照箇所	使徒 11:24、ヨハネ 16:8、Iヨハネ 1:9
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Iヨハネ 1:9
AG 日曜学校教案参照箇所	小学下級 1 巻-主題 3-10 課、小学上級 3 巻-主題 1-3 課
□導入	<p>言えそうで、心から素直になって言えない言葉って何だろう？ その1つが「ごめんなさい」だと思います。どうして「ごめんなさい」って素直に言えないんだろう？(考える時間を持つ) 今日素直に「ごめんなさい」と言えなかった人のお話が出てきます。</p>
□ポイント1 教会は、聖霊に満たされていました(使徒4:31-37)	<p>聖霊に満たされて誕生した教会(31)は、貧しくて困っている人はいませんでした。それはみんながお金持ちだからだったからではなく、心を一つにしてお互いに助けあっていたからです。先々週に学んだ慰めの子のバルナバさんも、聖霊に満たされている人で(11:24)、神様の前に正直で助けあう心を持っている人でした。</p>
☞	<p>ここで聖書は「共産主義」や宗教的な「共同生活」を勧めているわけではありません。教会が誕生した初期という時代とその規模(顔が見える家族的な範囲)などの背景を知る必要があります。いわゆる初代教会の「原始共産的」なあり方も、永続したわけではありません。「無政府主義」や「マルクス主義的共産主義」は、この原理を国家全体に、また世界全体に拡大できると勘違いしたとある学者が指摘しているとおりです。ここでの中心は、制度ではなく、お互いに助けあったということでしょう。</p>
□ポイント2 アナニヤとサツピラは、献金をごまかしました(5:1-11)	<p>お互いに支え合い、また神様の働きのためにささげる献金だったのですが、アナニヤとサツピラという夫婦はごまかした献金をもってきました。(どうやら周りの人から「すごいね」と言われたかったのかもしれない)しかしペテロは、ごますことは聖霊へのあざむき(裏切り)だと言いました。ペテロが語り終えると、アナニヤもサツピラもショックのあまり息が絶えてしまいました。</p>
☞	<p>「土地を売ってお金を全部、献金にささげなければならない」という印象を与えないようにしましょう。一部だったら一部と素直に言えば良かったことが伝わるように話しましょう。</p>
☞	<p>アナニヤとサツピラの死は、「単なるショック死ではない」(『新聖書注解』)と述べ、「神のさばき」であったという説が示されています。もちろん生と死は神の御手の中にあり、死は最終的には罪の結果です。しかしある学者は新約の時代だから「ショック死」だと表現しています。子どもたちに語ることを鑑みた時、伝えるべき点をしっかりと伝えているなら(聖霊をあざむく罪の大きさ)、「ショック死」と語っても良いと思います。</p>
☞	<p>このことは、教会に非常な恐れが生じる出来事でした(5、11)。しかしこのことで、人々は教会から遠ざかったのではなく、むしろ尊敬を受け(14)、主を信じる者が男女ともますます増えていきました。</p>



□ポイント3 聖霊は、聖い霊です（5:3-4、8-9）

ペテロはアナニヤとサツピラが代金をごまかしていることを、聖霊によって知ることができました。ペテロが何でも知っているというよりも、聖霊が人の心の中にあること（良いことも、そうでないことも）を全部知っておられます。サツピラは、ペテロが「この値段で土地を売ったのですか？」と聞いた時に、素直に罪を認めて悔い改めることができたら良かったのですが、「はい、その値段です」と言いました。聖霊は、聖い霊なので、いつわること、ごまかすこと、だますこと、罪を隠すことを嫌います。ただ嫌うだけではなく、罪を指摘して悔い改める機会を与えます。

□結論 聖霊は、私たちの罪を示し、悔い改めに導く聖い霊です。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

罪は放っておくと、カビや癌細胞のように、どんどん増え広がっていきます。今、私たちの中に、隠している罪、ごまかしていること、嘘をついていることはないでしょうか。誰も知らなくても聖霊は知っています。イエス様は、その罪を責めてさばいて、みんなをひどい目にしようと思っているのではありません。みんなを愛しています。愛しているからこそ、汚いもの、ごまかしているもの、そういうものを持ったままでいてほしくないのです。イエス様はみんなを愛していますが、罪はお嫌いなんです。その罪をイエス様の十字架の血潮で聖くしたいと願っています。今、勇気を持って祈りの中で告白し、罪を悔い改めましょう。私たちが悪や罪から聖めてくれます。（Iヨハネ 1:9）

- \* 子どもたちの様子を見ながら、個人的に悔い改めへと導いてあげてもよいでしょう。その時、イエス様の十字架によって赦されたことを最後に強調して励ましましょう。

# 教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第五課 第五週
単元	ペンテコステ
テーマ	行くべき道に導いてくださる聖霊
タイトル	ピリピにて
テキスト	使徒 16:1-15
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) Iコリント 2:11 or ヨハネ 16:13
AG 日曜学校教案参照箇所	小学下級2巻―主題4―5課、中学3巻―主題1―7課
□導入	<p>あなたは迷子になったことはありますか？迷子になると本当に大変ですね。最近の自動車や携帯電話には目的地まで導いてくれるナビゲーションがついているものが多くなりました。私たちの人生も迷子になったら大変です。毎日私たちと一緒にいてくれて幸せな人生へと歩むべき道を導いてくれるナビゲーションがあったら欲しいと思いませんか？</p>
□ポイント1 パウロはアジアでみことばを語る予定にしていました	<p>イエス様を信じたパウロは大胆にイエス様は救い主であることを人々に伝えました。特に神様はパウロを異邦人(ユダヤ人以外の人々)に福音を伝える役割を与えてくださいました(参照:使徒 9:15、13:2)。多くのユダヤの人たちは自分たちこそ神様に選ばれた特別な民で、自分たち以外の人々には神様の祝福はないと考えていたのです。しかし、神様のお考えは違いました。神様はまずユダヤ人から始まってすべての国の人々にイエス様の素晴らしい救いの知らせを伝えたいと願っておられました。そこでパウロをその特別な任務のために用いてくださったのです。</p> <p>パウロは異邦人の人たちにも福音を伝えるために全三回の伝道旅行をしました。今回はその二回目の時の出来事です。パウロはいつものように他のお弟子さんたちと一緒に出かけました。今回はまずアジアの地方でイエス様のことを伝えようと考えていました。</p>
□ポイント2 聖霊はパウロたちを予定とは違うマケドニアへと導きました	<p>ところが聖霊がパウロの内に「アジアでみことばを語ってはいけない」と言われました。理由はわかりませんが聖霊の導きに従うことにしました。そこでパウロたちは進路を北に変えてフルギヤ・ガラテヤの地方を通り、さらにムシヤ、ビテニヤと進もうとした時、再び聖霊はパウロに「そちらの方向ではない」と語られたのです。いったいどうしたことでしょう。しかし、パウロは聖霊に導かれるままにムシヤを通りトロアスに下ることにしたのです。</p> <p>そんなある夜、パウロは幻を見ました。一人のマケドニア人がパウロの前に立って「どうかマケドニアに渡ってきて私たちを助けてください」と熱心をお願いしている幻でした。パウロはこれは神様からの導きに違いないと、すぐにマケドニアに向かいました。今まで自分たちの思いとは違うところに聖霊が導いておられたのはまさにこのためだったことがわかったのです。</p>
☞	<p>アジア、フルギヤ、ムシヤ、トロアス、マケドニアなどいくつかの地名が出てくるが聖書の巻末地図などを参照して生徒と一緒に位置を確認することで聖書の話がよりリアリティのあるものになるでしょう。伝道旅行の地図を作成するのも一つです。</p>

☞「聖霊に導かれる」「聖霊の声を聞く」という表現が具体的に生徒に分かるように教師が体験した聖霊に導かれる体験を話すといいでしょう。物理的に耳に聞こえてくるのではなく、心に聞こえる声、みことばや祈りの中で行くべき道、なすべきことが教えられたことなどを証しましょう。神様は様々な方法で私たちにもみこころを伝えられるお方です。かつては預言者や天使、幻を通して語られましたが、今は内に住む聖霊を通し、みことばによって私たちの心に語られることが基本です。

### □ポイント3 マケドニアの街ピリピでルデヤと出会いその家族が救われました

パウロはトロアスから船に乗りマケドニアの地方都市であるピリピに滞在しました。そして安息日になると祈り場がある川岸に出て行ってそこに座って集まってくる女性たちにイエス様のことを話しました。するとその中にテアテラという町から来ていたルデヤという女性がいました。ルデヤは紫布を売る商人で神様のことに理解のある女性でした。彼女はパウロの話を中心に聞いていました。そして神様はルデヤの心を開いてパウロの話を中心に留めるようにされたのです。ルデヤはパウロの話すイエス様を信じました。そしてバプテスマを受け、彼女の家族もイエス様を信じバプテスマを受けました。そしてパウロたちを自分の家に招いたのです。神様が聖霊によってマケドニアにパウロを導いたのはまさにこのためだったのですね。

☞「祈り場」…ピリピにはまだユダヤ人の会堂がなかったのではないかとされている。そこでパウロはユダヤ人の非公式の集会場である祈り場を探したのである。パウロは異邦人伝道を志していたが、彼の願いはまず同胞のユダヤ人が救われることであつた(参照:ローマ11章)。そこで外国の地に行った時はまずユダヤ人の集会場を探し、そこを拠点として宣教活動を行った

☞「紫布商人」…小アジアにあるテアテラは紫布の染料で有名だった。当時紫布は非常に高価なものであつたのでルデヤは裕福な人であつたといわれている。ピリピの家の教会の拠点となるにふさわしい人物を神様は備えておられたのである。ちなみに、元来紫布は地中海のアッキ貝からとれる微量の色素を集めて染料とし染めた布で非常に高価なものであつた。聖書中でもこれを用いた人は王や高官(雅3:10, ダニ5:7)、金持(ルカ16:19)がほとんどである。彼女が扱った紫布は、彼女の町テアテラで生産されるもので、この地方でとれるあかね草の根からとった染料で染めたものと考えられる。

### □結論 聖霊は私たちが進むべき道を示し導いてくださるお方です

#### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

聖霊はパウロが行くべき道を確かに示して下さり導いてくださいました。聖霊の導きに従った時に、パウロは救われるべき魂に出会うことができたのです。あなたはいつも聖霊の声を聞いていますか？聖霊の導きに従っていますか？聖霊は聖書のみことばを土台として、祈りの中や人からのアドバイス、環境などを通してあなたを正しい方向へ導いてくださるお方です。行くべき道がわからず迷っていることはありませんか？不安なことはありませんか？祈りとみことばの中で聖霊の声に耳を傾けましょう。示されたことを牧師先生や先生に相談してみるとよいでしょう。